かみのかわ

ふれあいネットワーク

社協だより No.206

●編集発行／社会福祉法人上三川町社会福祉協議会　●発行日／令和8年5月1日
●上三川いきいきプラザ内　☎56−3166　FAX 56−3164

ボランティア養成講座（基礎編）

参加者募集！

健康づくりや介護予防、地域での支え合い活動のサポートを行うボランティアを養成するため、「ボランティア養成講座（基礎編）」を開催します。ボランティア活動に関心のある方、地域で活動したい方、どなたでも参加できます。ぜひ、ご参加ください。

開催日時　令和8年6月19日（金）
13時30分～16時

会　場　上三川いきいきプラザ
2階　大会議室

対　象　上三川町在住の方で、
ボランティアに関心がある方
（年齢、資格等は問いません）

費　用　無料

申し込み　令和８年５月２９日（金）までに
本会へお申込みください。

上三川町社会福祉協議会
地域福祉係
TEL：56−3166

目次

P1　ボランティア養成講座
P2　成年後見サポートセンター、終活勉強会
P3　認知症サポーター養成講座、認知症家族交流会
P4～6　令和8年度事業計画・予算
P7　役員体制、善意銀行寄付、評議員会だより
P8　ボランティア活動紹介

じぶんの町を良くするしくみ。赤い羽根共同募金

社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金により作成されています。

～誰もが安心して暮らせる地域であるために～

上三川町成年後見サポートセンターのご案内

成年後見サポートセンターでは、判断能力が十分でなく日常生活を営むのにサポートを必要とする方が、「成年後見制度」を活用して迅速に適切な支援を受けられる環境づくり（個別相談、出前講座等）を行います。いつでもお気軽にご相談ください。

ご利用いただいた方からの声

認知症高齢者を介護する家族

裁判所への申立てにあたり、書類の取り寄せや書き方について分かりやすく教えてくれたので、スムーズに手続きできました。

新たに後見人を受任した弁護士

受任当初で情報が少ない中、関係機関との情報共有の場を開いてくれたので、心強い仲間とチームを組んで支援を開始できました。

障がい児・者を支援する相談支援事業所

制度利用について相談した際、対象者ごとにメリットや課題など、細やかに助言していただき、とても参考になりました。

成年後見制度とは

認知症、知的障がい、精神障がい、発達障がい等によって物事を判断する能力が十分ではない方について、権利を守る援助者（成年後見人等）を選ぶことで、ご本人を法律的に支援する制度です。

参加無料

終活勉強会　～老後のことについて考えてみませんか？～

成年後見制度の理解やエンディングノートの活用方法など、終活についての勉強会を開催いたします。
全３回のうち、関心のある内容の参加のみでも可能です。

開催日時			内　容	申込期限
第1回	7月3日(金)	13時30分～15時（13時受付）	・「終活」を考える ・エンディングノートの活用方法	6月30日(火)
第2回	7月10日(金)		・はじめての成年後見制度 ～家族が困る前に知っておく基礎知識～	7月 7日(火)
第3回	7月16日(木)		・成年後見制度について（実践編） 後見人の業務、申し立ての実際、活用事例	7月14日(火)

会　場　上三川いきいきプラザ2階大会議室

終活勉強会に関する申込・お問い合わせ

上三川町地域包括支援センター（上三川町社会福祉協議会相談支援係）
TEL：56-5513　FAX：56-6381　Mail：hokatu@kamisyakyo.or.jp

参加費無料

認知症を学ぼう

第1回 認知症サポーター養成講座

認知症に関する正しい知識と対応について学び、地域や職場で認知症の人やその家族を温かく見守る「認知症サポーター」を養成します。認知症を知るはじめの一歩として、受講してみませんか。
ご参加お待ちしております。

開催日時 令和8年 6月18日（木）13時30分～15時（受付 13時～）

会　　場 上三川いきいきプラザ 2階 大会議室

申 込 み 上三川町地域包括支援センター
TEL：56-5513　FAX：56-6381　mail：hokatu@kamisyakyo.or.jp

5月7日（木）～6月16日（火）までにお申し込みください。

※FAX、メールでお申込みの場合は、名前、住所、連絡先をご記入ください。

今後の予定 第2回 9月11日（金）（講座内容、開催会場、時間につきましては、第1回と同じです。）

認知症の人を介護する家族の 認知症家族交流会

認知症の人を介護する家族のための交流会を開催します。
経験や悩みを話したり、情報交換ができる場です。話をするだけでも心が軽くなることや、誰かの話を聞くことで、同じ悩みを共有できることがあります。
ご参加お待ちしています。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
日時	6月12日（金） 10時～11時30分	8月18日（火） 13時30分～15時	10月14日（水） 13時30分～15時	12月11日（金） 10時～11時30分	2月18日（木） 13時30分～15時

第1回（6月12日）と第4回（12月11日）は、大会議室にてオレンジカフェ「えんがわ」を10時～12時まで開催していますので、自由に見学していただくことや、認知症の方がえんがわに、そしてご家族は家族交流会に参加していただくことも可能です。

会　　場 上三川いきいきプラザ 2階 中会議室 ※1回のみの参加も可能です

対　　象 認知症の人を介護する町内在住の方
過去に認知症の人を介護していた町内在住の方

申 込 み 上三川町地域包括支援センター
TEL 56-5513　FAX 56-6381
Mail hokatu@kamisyakyo.or.jp

～令和8年度 事業計画～

本会では、「第3次地域福祉活動計画」に基づき、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、町に暮らすすべての人が安心して、生きがいのある生活が送れるよう、地域での助け合い・支え合いによる地域福祉のまちを目指して、以下の4つの基本目標のもと、各種施策・事業を通し、地域福祉の推進に努めてまいります。

基本目標① 地域福祉活動を担う人づくり

○福祉教育の企画相談･講師紹介･出前講座
○ふくしアクションプログラム事業
○中学生･高校生サマースクール
○認知症サポーター養成講座（小･中学生、一般向け）
○ふれあい健康福祉まつり
○かみのかわ福祉の集い
○いきいきサロン･ミニサロンへの支援
○生きがいサロンの開催
○地域の見守りと買い物支援事業（移動スーパー）
○介護予防事業
○ボランティア養成講座
○点字講習会･朗読･点字ボランティア研修会
○ボランティアセンターの運営

福祉教育（盲導犬講座）

基本目標② 地域福祉活動を支える助け合い・支え合いの仕組みづくり

○地区社会福祉協議会への支援
○小地域福祉活動計画策定
○コミュニティ推進協議会との連携
○地域ネットワーク構築「くろねえ事業」
○食事サービスボランティア連絡会
○福祉協力員設置及び研修会
○社会福祉協議会備品貸し出し
○団体事務室の管理
○各種団体との連携と支援
○自立支援型地域ケア会議
○保健、医療、福祉等関係機関との連携強化
○救急医療情報キット配付事業
○社会福祉法人連絡会
○高齢者支援協議体（第1層協議体）への参画
○介護支援専門員連絡会

くろねえ会議

上三川町社会福祉協議会　基本理念

支えあい(愛)・助けあい(愛)・つながり感じて暮らすまち

基本目標③ 自立した生活を送ることができる基盤づくり

○総合相談窓口
○地域包括支援センターの受託
○心配ごと相談事業の受託
○重層的支援体制整備事業の受託
○「社協だより」の発行
○ホームページの充実
○コミュニケーション支援事業の受託
○虐待啓発研修会
○日常生活自立支援事業「あすてらす」
○成年後見サポートセンターの受託
○オレンジカフェ「えんがわ」
○認知症初期集中支援チームの運営
○認知症家族交流会
○キャラバンメイト研修
○寝たきり高齢者へ紙おむつ・理容・美容券助成事業
○ひきこもり支援事業
○緊急対応食事サービス事業
○各種貸付事業
○福祉車両の貸出し(どりーむ号・いきいき号)
○タクシー料金助成事業
○日常生活外出支援ボランティア事業

福祉車両貸出事業

基本目標④ 安心して暮らせる地域環境づくり

○地域の安全見守り隊の推進・機動部隊の整備
○緊急時における助け合いの体制づくり
○災害時支援体制の確立
○災害支援ボランティアの育成
○子どもの遊び場設置・補修費助成事業

地域の安全見守り隊

～法人運営～

○理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催
○自主財源（社協会費、共同募金）の確保、善意銀行の運営
○職員の専門性の向上
○第3次地域福祉活動計画の進行管理
○第4次地域福祉活動計画の策定
○第2次中期経営計画の策定
○事業継続計画（BCP）の管理

令和8年度　社会福祉事業収入・支出予算

収入

（単位：千円）

大　区　分	予　算　額	大　区　分	予　算　額
会費収入	7,372	貸付事業収入	100
寄付金収入	1,000	事業収入	338
補助金収入	65,999	繰入金収入等	19,909
受託金収入	19,987	前年度繰越金	3,112
合　　計			117,817

支出

（単位：千円）

サービス区分	予　算　額	事業名等	内　　訳
法人運営事業	72,857		72,857
社会福祉金庫貸付事業	500		500
地域助成事業	2,363	地区社協助成	2,095
		子どもの遊び場遊具補修	268
地域活動推進事業	11,491	地区社協食事サービス事業	784
		地区社協連協研修	272
		ふれあい健康福祉まつり	3,946
		団体事務室維持管理費	320
		福祉協力員設置	626
		ミニサロン組織化事業	83
		地域の安全見守り隊	42
		地域の安全見守り隊機動力整備	404
		各団体補助金	2,335
		緊急時手話通訳派遣	96
		団体自主運営助成金	135
		緊急対応食事サービス	30
		広報活動(社協だより)	548
		地域福祉活動計画策定	1,570
		小地域福祉活動計画策定	300
紙おむつ支給事業	2,206		2,206
タクシー料金助成事業	2,939		2,939
理美容サービス料金助成事業	275		275
ボランティアセンター事業	639	中高生サマースクール	486
		食事サービスボランティア連絡会	117
		ボランティアセンター運営	36
心配ごと相談所運営事業	159		159
コミュニケーション支援事業	5,798		5,798
生活福祉資金貸付事業	6,394		6,394
日常生活自立支援事業	732		732
重層的支援体制整備事業	6,503		6,503
成年後見サポートセンター事業	121		121
共同募金配分金事業	3,715	老人福祉活動費	131
		障害児・者福祉活動費	21
		児童・青少年福祉活動費	382
		福祉育成・援助活動費	1,795
		ボランティア活動育成事業費	1,056
		安心生活支援事業費	300
		災害見舞金	30
善意銀行事業	1,125		1,125
合　　計	117,817		117,817

令和8年度　公益事業収入・支出予算

（単位：千円）

	収　　入	支　　出
地域包括支援センター運営事業	60,263	60,263

役員、評議員、評議員選任・解任委員

（令和8年4月1日現在）

役員

会　長　遠藤　進（学識経験者）
副会長　稲川　洋（町議会）
副会長　新庄　哲二（民生委員児童委員協議会）
理　事　笠井　敏雄（自治会長連絡協議会）
理　事　塩谷　節子（ボランティア連絡協議会）
理　事　首藤　眞史（シニアクラブ連合会）
理　事　鈴木美恵子（女性団体連絡協議会）
理　事　直井喜江子（地区社協連絡協議会）
理　事　古本　裕一（社会福祉事業役職員）
常務理事　飯田　康人（学識経験者）
監　事　大塚　正一（学識経験者）
監　事　坂本佐栄重（学識経験者）

評議員選任・解任委員

小平　政子（外部委員）
田口　成子（外部委員）
大塚　正一（監事）
坂本佐栄重（監事）
大塚友起子（事務局）

評議員

小川　公威（町議会）
松本　信明（町議会）
吉田　由美（教育委員会）
菱沼　里美（社会教育委員）
宇佐美邦義（民生委員児童委員協議会）
中原みゆき（商工会）
生田　弘美（ボランティア連絡協議会）
加藤　昭治（シニアクラブ連合会）
大島　淑江（身体障害者福祉会）
市田トモ子（手をつなぐ育成会）
山﨑　明（子ども会育成会）
山本　裕子（赤十字奉仕団）
伊藤　正（保護司会上三川町分区）
漆原　幸子（女性団体連絡協議会）
海老原　保（坂上小地区社協）
濵野　礼子（本郷小地区社協）
佐藤　日成（北小地区社協）
岡田　雄一（上三川小地区社協）
保坂　有二（明治小地区社協）
出井　敦仁（明治南小地区社協）
田仲　均（本郷北小地区社協）
大谷　有紀（福祉施設代表者）
野口　修一（学識経験・学校）
篠原　康宏（学識経験・学校）

※敬称略

善意銀行ご寄付　皆様のあたたかいお気持ち

（令和8年3月23日～4月15日）
（　）内数字は寄付回数

寄付者		寄付金額
(株)馬場商店 様	(31)	8,165円
匿名	(46)	10,000円
そば処ふくべ 様	(28)	6,449円
匿名	(26)	2,477円

寄付者		寄付金額
伊澤源水 様	(7)	10,000円
ぴょんぴょんの会 様	(1)	835円
(株)おかもと 様	(1)	20,000円
(株)ピー・シー・ケッス 様	(2)	20,000円

寄付者		寄付金額
匿名	(50)	10,000円
滝沢哲生 様	(19)	4,000円

評議員会だより

左記のとおり会議が開催され、すべての議案が承認されました。

第4回評議員会（3月27日）

報告第3号　職員採用試験の結果について
報告第4号　第3次地域福祉活動計画の進捗状況について
議案第9号　理事の選任について
議案第10号　役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
議案第11号　令和7年度社会福祉事業補正予算第4号について
議案第12号　令和7年度公益事業補正予算第2号について
議案第13号　令和8年度事業計画について
議案第14号　令和8年度社会福祉事業収入支出予算について
議案第15号　令和8年度公益事業収入支出予算について

上三川町内の
地域福祉活動をご紹介

ふれあい通信

上三川町では、多くの方がボランティア等の地域福祉活動を行っています。日々活動をしている方にインタビューを行いました。

名前：長久保（ながくぼ） 文子（あやこ） さん

現在の活動

点字サークル「ぽつてん」副会長

点字サークル「ぽつてん」はパソコンで本などの点訳をしています。月1回勉強会の開催や、「アイの会」（視覚障がい者の団体）のお手伝いをしています。

その他、「認知症サポーターキャラバンメイト」「楽らく隊」でのボランティア活動や、フィットネスクラブの会長、ピンポンサロンなど様々な活動に参加しています。

Q 活動を始めたきっかけは?

A 高校生の時に、ボランティア部の友人が点字を打っているところを見て、「これ絶対やりたい！」と思っていました。その後、子育て中にテレビで、点字の絵本が足りないというニュースを見て、さらにやりたい気持ちが強くなりました。子育てが終わった頃、たまたま見た社協だよりに「点字講習会」の記事を目にして、飛びつくように参加したことがきっかけです。

Q 活動をする中で大切にしていることは?

A 読み手が読みやすく、使いやすい点訳をすることです。

アイの会のメンバーから点訳依頼があった料理のレシピや家電の取り扱い説明書などは、どの部分を主に知りたいかを聞き取ってから、必要な部分を点訳しています。顔が見える関係だからこそできることだと思っています。

Q 活動をする中で楽しいと感じることは?

A 「ぽつてん」の勉強会に参加することです。点訳は奥が深く、家で点訳をしている時に、迷うことがあります。「ぽつてん」のメンバーは、ベテランの方もいるので、勉強会で相談しながら解決していくのがとても楽しいです。

Q 最後に一言

A 誰かのためにと思い、ボランティアを始めましたが、今は自分のためだったと思っています。ボランティアしたいなと思っている方がいたら、ぜひ身近な方に誘われた活動に参加してみてください。まずは気軽に始めて、合わなければやめる。最初はそれでいいと思います。

事務局からひとこと

「点字は楽しいよ!」と笑顔でお話をしてくださった長久保さん。

やりたかった点字で踏み出した一歩から、たくさんの人に出会い、お話をして勉強になることがたくさんあったと教えていただきました。そのお話は、親の介護に活かすことができ「ボランティアは自分のためになる」ということを具体的にお聞きすることができました。

全てに関する連絡・相談・お問い合わせ先 社会福祉法人 上三川町社会福祉協議会

住　所：上三川町上蒲生127－1（上三川いきいきプラザ内）
電　話：0285－56－3166　ＦＡＸ：0285－56－3164
メール：soumu@kamisyakyo.or.jp
Ｈ　Ｐ：https://www.kamisyakyo.or.jp/

右記のQRコードを読み取ると本会ホームページにアクセスできます。ぜひご覧ください。

窓口受付時間 月曜～金曜（祝日を除く）午前8時30分～午後5時15分